

事務事業名		シーパル大船渡の施設の管理業務		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	0 5 雇用の創出と安定		区分	
	基本事業名	0 2 地場企業人材の育成		単年度繰返	
根拠法令		大船渡市勤労者福祉施設設置管理に関する条例		※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	商工港湾部商工課		【開始年度】	
	課長名	鈴木 宏延		平成3 年度～	
	係名	労政係	電話 0192-27-3111		
	担当者	森 拓真	内線 111		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分	
①勤労者の教養及び文化の向上、健康の保持等を図る目的で設置されたシーパル大船渡の施設及び設備等の維持管理を行う。 ②主な事業内容は、次のとおり。 ア.施設等の使用許可に関する業務(使用許可申請受付・使用許可書交付) イ.施設等の維持管理に関する業務(施設清掃業務、夜間警備業務、自動ドア保守点検業務、消防設備点検業務等) ③当該施設は、平成18年度から大船渡市スポーツ協会に指定管理委託しており、事業費の大半は、指定管理料として支出される。				C 施設管理	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
				総投入量(千円)	事業費
				財源内訳	国庫支出金
					都道府県支出金
					地方債
					その他
					一般財源
					事業費計(A)
					0
				人件費	正規職員従事人数
					延べ業務時間
					人件費計(B)
					0
					トータルコスト(A)+(B)
					0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動) 施設等の使用許可、維持管理に関する業務	名称 単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様	ア 使用許可件数 件
	イ 各種設備等の保守点検項目数 件
	ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 シーパル大船渡及び市内に住所又は勤務先を有する勤労者	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	名称 単位
	カ シーパル大船渡施設面積 m <sup>2</sup>
	キ 市内に住所又は勤務先を有する勤労者数 人
	ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設を適切に維持管理し、安全で充実した余暇活動を行ってもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	名称 単位
	サ 施設設備不具合件数 件
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 福利厚生制度が整うことで安心して働き続けることができ、地元企業に必要な人材の育成が促進される。	シ 施設設備不具合対応率 %
	ス 施設利用者数 人

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	106	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	438	643	814	1,084	925	925	
		一般財源	千円	7,601	7,397	7,228	6,960	7,220	7,220	
	事業費計(A)		千円	8,039	8,040	8,148	8,044	8,145	8,145	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	150	150	150	150	150	150	
		人件費計(B)	千円	600	600	600	600	600	600	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	8,639	8,640	8,748	8,644	8,745	8,745
⑤活動指標		ア	件	255	371	499	686	800	800	
		イ	件	31	31	31	31	31	31	
		ウ								
⑥対象指標		カ	m <sup>2</sup>	644	644	644	644	644	644	
		キ	人	17,974	17,974	17,974	17,974	17,974	17,974	
		ク								
⑦成果指標		サ	件	0	0	0	0	0	0	
		シ	%	-	-	-	-	-	-	
		ス	人	6,312	10,701	11,858	19,107	12,000	12,000	

事務事業ID	1006	事務事業名	シーパル大船渡の施設の管理業務
--------	------	-------	-----------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成10年にシーパル大船渡が開館したことによる。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	雇用開発機構が設置、施設管理等を行っていたが、平成15年に市が取得し、管理運営を開始。 東日本大震災により施設が被災し、使用不能となっていたが、災害復旧により、2階に大会議室、1階に会議室2室と研修室を備え、平成23年9月から利用を再開した。 平成17年6月から施設内にジョブカフェ気仙が開設されており、東日本大震災で施設が被災したことに伴い、震災後は、一旦、合同庁舎内で事業を継続していたが、平成26年12月から施設での事業を再開した。 令和5年3月にジョブカフェ気仙の運営が終了したことに伴い、令和5年度から研修室の貸し出しが可能となった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市内で会議室が不足していることから、様々な利用に関する問い合わせ(企業の面接、長期的な利用、政教関係の団体等)がある。 指定管理者である大船渡市スポーツ協会からは、2階トイレの洋式化の要望がある。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▼ 理由・内容 施設設備の維持管理を充実することにより、その機能が良好な状態で利用に供されることから、福利厚生が整い、勤労者福祉の増進に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▼ 理由・内容 市所有の施設であり、勤労者の福祉の増進を図る施設でもあるため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▼ 理由・内容 勤労者の福祉の増進と施設の適切な維持管理を目的としているため、対象及び意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▼ 理由・内容 利用者に安全に利用してもらうため、故障箇所や不具合箇所を修繕し、適切な維持管理に努めており、成果の向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▼ 理由・内容 事業を廃止した場合、施設等の破損や故障が放置されるため、施設の機能が損なわれ、安全で快適な使用が困難になる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▼ 理由・内容 老朽化により、施設等の故障や不具合箇所の増加が見込まれることから、事業費削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▼ 理由・内容 施設等の保守点検に係る管理委託に代えて、平成18年度から指定管理者制度(使用許可業務と維持管理業務)を導入し、事務の軽減を図っているため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▼ 理由・内容 利用者には使用料を負担してもらっていることから受益と負担の公平性が確保されている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 適正な維持管理を行うことで利用者の利便性及び安全性の確保に努める。																		
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	施設の維持管理にあたっては、指定管理者である大船渡市スポーツ協会と協議を行いながら、利用者の利便性の向上や安全性の確保に努める必要がある。